JP362048028A

Mar. 2, 1987

L3: 19 of 35

FORMING METHOD FOR FIELD OXIDE FILM

INVENTOR:

TSUCHIYA, NORIHIKO

USAMI, TOSHIRO

APPLICANT: APPL NO: TOSHIBA CORP JP 60187502 > Aug. 28, 1985

DATE FILED: INT-CL:

HO1L21/322; HO1L21/76; HO1L21/94

ABSTRACT:

PURPOSE: To enhance a withstand voltage and to reduce a leakage current by ion implanting to the center of a field region as the pretreating step of oxidizing a field to form a deep oxide film.

CONSTITUTION: An SiO<SB>2</SB> film 2 and further an Si<SB>3</SB>N<SB>N<SB>4</SB> film 3 are formed on a silicon substrate 1, a resist pattern is masked, only the film 3 is removed to expose the SiO<SB>2</SB> film 2a. Then, the center 2b of the exposed film 2 remains, a photoresist mask 4 is formed on the entire substrate, and ion implanted as designated by 5. The implanted Si ions form an implanting defect 6. Thereafter, the mask 4 is separate, the mask 3a is used, and a field oxide film 7 is formed by wet oxidizing. The center ion implanted as designated by 5 is further deeply oxidized to form the film 7 deepened only at the center 7a. The defect 6 repeats vanishing, combining and condensing in the oxidizing step, and getters a lattice defect in the pattern edge of the field oxide film. The film 3a is eventually removed.

COPYRIGHT: (C)1987, JFO& Japio

JAPAN 1028

equater - Si, Ar, Oxygen

⑫公開特許公報(A)

昭62-48028

@Int_Cl.4

뿚덼끖쁳

庁内整理番号

@公開 昭和62年(1957)3月2日

21/322 H 01 L 21/76 21/94

J - 7738-5F M-7131-5F 6703-5F

登明の数 1 (全4頁) 未請求 審立請求

❷発明の名称

フィールド酸化度の形成方法

5 昭60-187502 创特

昭60(1935) 8月28日 色出

土 经验 明 者

彦

川芎市幸区小向東芝町1一株式会社東芝纶合研究所内

宇 明 者 母発

使節 佐

川埼市幸区小向東芝町 1

株式会社東芝纶合研究所內

伊出 顋 人

株式会社東芝

昆

川崎市幸区担川町72番地

弁理士 踏田 英二 郊代 理 人

1、発明の名称

フィールド世化説の可は方法

2、特許請求の範囲

de la proposición de la companya del companya de la companya del companya de la c

シリコン半導体な板上に関化製及び変化製 を戦沈慰戌する工程と、尊板のフィールド領 域となる部分上方の既幸化物の一部を除去し て鉄酸化物を露出させるとともに数草化物の 残部を選択数化のマスクとして残すこ程と、 上記舞出した農化費を送し上記草板のフィー ルド領域のうち中央部のみにSi、O又は Arいずれかのイオンをイオン住入して数中 央部に往入欠陥を形成するエワと、上記至化 費のマスクを用いて草板フィールド頂域の選 投機化をし、集中央器において深くなった形 状のフィールド鞭化物を形成するとともには フィールド酸化製の风味近傍などに発生する 格子欠陥を上記住入欠陥にゲッタリングさせ る工程を含む半導体装置におけるフィールド 耐化器の形成方法。

3. 克明の詳細な説明

[異明の技術分野]

水発明は、半時体装置におけるフィールド版化 数の形成方法に関し、詳しくは股化前にゲッタリ ング欠略領域を形成するという前処理工程を付加 することにより改良したフィールド数化物の選択 世化方法に係るものである。

[克明の技術的作用]

従来、選択酸化(LOCOS) 法によるフィー **ルド南北海の形成方法は、以下に示す方法で行わ** これを、第2図(a)~(d)のI れている。 段間を発見して説明する。

まず、57.2 団(a)のように、シリコン草板 1 の上になされ 100%のSiO,R2をドライM化 ほで形成し、次にこのSiO。R2上に 690~ 30001 のSi,N.鸭3をCVD(化学不用成長) 法により形成する。

次に、Si, N. 四3の上に、フィールド領域 に対応して同口するレジストパターンをリソグラ フィ技術により形成し、第2団(b)のように、

フィールド領域上方のSi, N。 、 ンSi O。 Qをエッチング株式し、Si, N。 限3 a 及びSi O。 膜2 a からなる選択酸化のためのマスクを残してフィールドパターニングを行う。

その次に、第2回(c)のように、ほされた S.I. 、N.a. 関3 a と S.I. O。 膜2 a をマスクとして、基板のフィールド領域には、ウェット悪化により 144 m 以上のフィールド酸化規を形成する。 そして最後に、第2回(d)のように、マスク 3 a. 2 a を除去して果子分離を完成する。 マスクを除去した後のも征息分には离子形成がなされる。

【背景技術の問題点】

育記世来の選択数化法では、シリコン各をとフィールド酸化数(SIO。段)の質の無色医学の 差から、特にフィールド酸化物の内珠や面(パターンエック)において熱応力が発生する。 フィールド酸化酸の耐圧を高くするためなどにより、その非臓応力が極度に大きくなると、絶理容クラックの類因となり、あるいは不能物拡散の特にパ

もので、即ち、甚仮のフィールド司は上方の ·SI、N。質を除去してそこにSIO、質を習出 きせた後、舞出したSiO。 農ま語に、以収フィ **●ルド領域のうち中央部のみ間口しイオン**住入を 年能にするレジストパターンをリソグラフィ技術 で形成し、次に鉄レクストパターンをマスクとし てSi、O又はAPいずれかのイオン北入を行っ てフィールド領域中央部の所定認さ部分に注入欠 臨路分を形成する。 引持く選択敗化工程により、 フィールド酸化物のパターンエッジに特に発生す る格子欠陥を住入欠陥部分にゲッタリングさせる とともに、鉄中央部において選択肢化が進行して 罪く事復に避り込んだ形状のフィールド肢化的が 形成されることにより、背前圧でリーク環境の少 ない菓子分離特性が可能になった。

【発明の実施制】

以下に、本発明方法の一支施例を第1図(a) ~(d)の工程図を参照して具体的に説明する。 第1図の各図は来子斯面を示したものである。 まず、第1図(a)のように、シリコンは板1

THE PROPERTY OF THE PARTY OF TH

ターンエッジでの代表型。や、電板形成群、エッチング時の発展を忍さ起こしたりする。

また、シリコン間板とフィールド間を取り限り 無動所事の考は、草板に歪みを生ぜしめ、その店 果基板に欠陥中転移が発生するために基子の代始 性が低下し、特に無サイクル等による歪みの下で の劣化が接合のリーク電流及びパターンエッジに おけるリーク電池の増加を生じさせて少額り低下 の数限となっている。

[月町の目的]

本見明の目的は、フィールド景化の信息地工程としてフィールド領域中央型にイオン注入を行うことにより、ほい時化製を形成させて絶縁的としての経圧を高めるとともに、パターンエッジの欠額をイオン注入部に発生した欠陥領域にグッタリングさせることにより、リーク電流を抵抗することができるフィールド景化器の形成方法を提供しようとするものである。

[見用の貫張]

本見用は、上記目的を連携するためになされた

上に存さ 500xのSi O, 税2をドライ酸化法で、さらにSi O, 符2上に存さ1000xのSi , N。 税3をCVD法でお扱する。 この工程は、従来 の選択悪化法におけると同じである。

次に、レジストパターン(同示せず)によってマスクし、なぜフィールド報は上方のSi、N。 取のみをプラズマエッチングによって原表し、の1時(b)のようにフィールド報は上のSiO, 設2aを提出させる。 この際、従来方法と異なりフィールド報は上にSiO, 数2を残すのは、 な板の汚染を防ぐ収達限とするためである。

その次に、第1回(b)において、音出した SiO, 限2のフィールド類域上の中央第2bを 残して、球板全面にフォトレクスト(KTFR) の性入マスク4を形成する。 そして注入マスク 4を用いSiイオンを加速電圧180ke V、密度 2 ×10 × / cm² でシリコンは板のフィールド節域中 央部にイオン注入5する。 イオン注入5された Siイオンは、SiO, 数2bを透過してシリコンは板1のほさ1000kのところに往入欠額6を形

A STATE OF THE PARTY OF

成する.

その後、如1回(c)に示すように、は入マスク4を剥離して、SinNa性のマスク3aを用い、1100で、2 時間のウェット度化を行ってアさ1.2μmのフィールド度化模でを形成する。 イオン住入5を受けたフィールドがは、近年のカスでは、では、では、では、この中央が形成される。 はたい、この度化の方理で、住入下路のフィールドでは、この度化の方理で、企りにより、フィールドでは、変略を繰り返すとともに、フィールドを出して、変略を繰り返すとともに、フィールドを出している。

最後に、第18(d)に示すように、選択意化のマスクとしたSi。N。 図3a を除去しフィールド酸化図7が元成する。

[発明の効果]

本発明のフィールド層化製の形成方法によれば、 第一に、フィールド層化製のパターンエッジにお けるリーク電流が減少した半導体装置が符られる。

4. 固面の簡単な説明

第1回(a)~(d)は本発明のフィールド意 化製形成方法の工程を説明する素子変而工程内、 第2回(a)~(d)は従来のフィールド酸化製 形成方法の工程を示す素子所面工程内、第3位 「(a)及び(b)は本発明方法の効果を製明する グラフである。

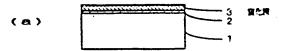
1 中シリコン基板、 2 一層化較、 3 一写化 膜、 3 a 一写化校マスク(選択数化用)、 4 一注入マスク、 5 一イオン注入、 6 一注入欠 略、 7 一フィールド数化模、 7 a ーフィール ド酸化膜の中央部。

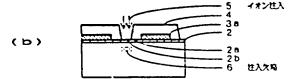
特許出間人 株式会社 東 芝 代理人 弁理士 湯田 英二

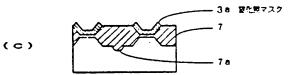
第1週(d)のフィー())酸化製が完成し、 Si,N。 概を除去したおとの D 型界子形成領域 に n。 概を形成し、多数の n。 一 D 接合のリーク 。 電流量を対定してその特度を求め(新3回(a)) 、一方提来の工程のフィールド無化製についての 内様制定額と比較した(第3回(b))。

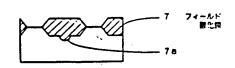
太児間方法の第3回(a)の特度と、従来方法の第3回(b)の場底とを比較してわかるように、太児間方法は従来方法にたいしてリーク情況がほぼ 1/3 であることがわかる。 それは、リーク電気の発生原因であるパターンエッジにおける格子欠類がゲッタリングによって減少した結果の限。象である。

本発明方法によれば、第二に、接合間の分離科 住を買定してみると、本発明方法によるものは、 35 V、健東方法によるものでは23 V であって、良 好な絶縁分種特性が実現されていることがわかる。 このように容耐圧のフィールド悪化製の切られる ことは、男子分類設計の自由度が高まることをも 互味する。



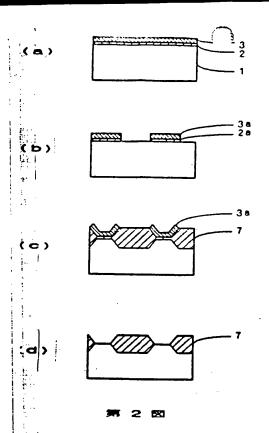


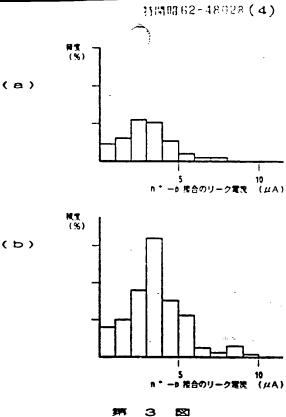




= 1 12

(d)





(19) Japan Patent Office (JP)

(12) Patent Release (A)

(11) Patent Application Release Sho.62(1987)-48028

(43) Release Date: Mar. 2, 1987

(51) Int.Cl¹
H O1 L 21/322
21/76
21/94

Identification No.

Agency Control No. J-7738-5F M-7131-5F 6708-5F

Examination Request: Not yet requested Items in Application: 1 (Total 4 pages)

(54) Name of Invention: Method of Forming Field Oxide Film

(21) Patent Application: Sho.60(1985)-187502

(22) Application Date: August 28, 1985

(72) Inventor: Norihiko Tsuchiya

c/o Toshiba General Laboratory

#1 Komukai-Toshiba-cho Saiwai-ku, Kawasaki-shi Kanagawa Prefecture [Japan]

(72) Inventor: Toshiro Usami

[same address]

(71) Applicant: Toshiba Corporation

72 Horikawa-cho, Saiwai-ku Kawasaki-shi, Kanagawa Pref.

[Japan]

(74) Agent: Hideji Morota, Patent Attorney

Specifications

- 1. Name of Invention: Method of Forming Field oxide Film
- 2. Scope of Patent Application
- A method of forming a field oxide film in a semiconductor device that includes --

.. a process to form a silicon film and a nitride film sequentially on a silicon semiconductor substrate,

.. a process to remove part of the said nitride film on the substrate's upper part that will be the field region so as to expose the said oxide film and leave the rest of the said nitride film as a mask for the selective oxidizing,

.. a process to [verb unclear] the above-noted exposed oxide film, implant ions of silicon, oxygen or argon only at the center of the above substrate's field region and form implant defects in the said central area, and

.. a process to selectively oxidize the substrate's field region by using the above nitride mask, thus forming a thickened field oxide film in the said central area while yettering at the above implant-defect sites the lattice defects generated near the edges of the said field oxide film.

3. Detailed Explanation of Invention

Invention's Technical Area: This invention bears on a method of forming a field oxide film in a semiconductor device, and specifically bears on a method of improved selective oxidation of field oxide film by the addition of a pre-treatment process of forming a gettered defect region before oxidizing.

Invention's Technical Context: Usually, the method of forming field oxide film by selective oxidation (LOCOS) is done as indicated below. This will be explained while referring to process diagrams Figures $2A(a)\sim(d)$.

First, as in Figure 2(a), one forms silicon dioxide film 2 about 100Å thick on silicon substrate 1 by dry-ctching, and then forms 600~3000Å of silicon nitride film 3 on the above film 2 by CVD (chemical vapor deposition).

Next one uses lithographic techniques to form a resist pattern on film 3 that makes an opening corresponding to a field region and, as in Fig. 2(b), etches away the silicon nitride/silicon oxide films on the upper part of the field region and does field patterning with the silicon nitride and silicon oxide remaining as a mask for selective oxidation.

Then, as in Fig. 2(c), with the remaining silicon nitride film 3a and silicon dioxide film 2a as a mask, one uses wet exidation to form a $1\mu m$ field exide film on the field region of the substrate.

Then finally, as shown in Fig.2(d), one removes masks 3a and 2a to complete an element-separation film. Thus forming the element on part of the substrate after removal of the mask completes the semiconductor device.

Problems with Current Technology: With the above-noted usual selective-oxidation method, thermal stress is created by differences in thermal expansion rates between the silicon substrate and field oxidized film (SiO₂ film), especially at the border interfaces (pattern edges) of the field oxide film. If such interface stress becomes very high due to such things as the field oxide film's dielectric strength, it becomes the source of dielectric-layer cracks, abnormal phenomena during patterning when diffusing impurities and other abnormalities during electrode formation and etching.

Again, differences in thermal expansion rates between the silicon substrate and the field oxidized film causes stress on the substrate or results in defects and dislocations arising in the substrate, so that the element's reliability drops off, and in particular warping due to heat cycles and the resulting deterioration leads to leaked current at junctions and increased leaked current at pattern edges—all of this causing a lower throughput.

Aim of Invention: The aim of this invention is to provide a method of forming a field oxide film that can use ion implanting in the field region's central area as a pretreatment process in field-oxidation in order to raise the dielectric strength of a thick oxide film formed as a dielectric film and can apply gettering of defect regions generated in ion-implanted areas at the pattern edge in order to lessen leaked currents.

Outline of Invention: This invention is one created to achieve the above-stated aim. That is, after removing silicon nitride film from the upper part of the substrate's field region to expose the silicon dioxide film there, one opens up just the central part of the substrate's field region and forms a resist pattern by lithographic techniques to enable ion implanting. Next one uses the resist pattern as a mask in ion implanting silicon, oxygen or argon to form an implant-defect area to a prescribed depth at the center of the field region. One goes on to use selective oxidation to do implant-defect-area gettering of lattice defects that are especially generated at the pattern edges of the field oxide film; and by forming a field oxide film of a shape deeply penetrating the substrate by the selective oxidation

proceeding in the said center area, element-separation traits become possible that have dielectric strength and little current leakage.

Examples of Applying Invention

In the following, we will concretely explain one example of applying this invention's methods, while referring to the process diagrams of Figures $1(a) \sim (d)$. Each of the Figure 1 diagrams is a cross section of the element.

First, as in Figure 1(a), we used dry-oxidation to form 500Å-thick silicon dioxide film 2 on a silicon substrate and also used CVD to form 1000Å-thick silicon nitride film 3 on silicon dioxide film 2. This process is identical to those using the usual selective oxidizing methods.

Next, with a resist pattern as a mask (not shown in figure), we used plasma etching to remove just the silicon nitride film in the substrate's upper field region and so exposed silicon dioxide film 2a in the field region, as shown in Figure 1(b). Here the process differs from the usual method in that we left silicon dioxide film 2 on the field region to make a protective film that would prevent contamination of the substrate.

After that, in Figure 1(b), we left center area 2b of the exposed silicon dioxide film 2 on the field region and formed a photo-resist (KTFR) implanting mask 4 on the entire substrate surface. Then we did ion-implant 5, using implant mask 4, at the center of the silicon substrate's field region, implanting silicon ions at an acceleration voltage of 180keV and density of $2\times10^{16}/\text{cm}^2$. The silicon ions implanted penetrated silicon dioxide film 2b to form implant defect 6 to a depth of 1000Å in silicon substrate 1.

Then, as in Figure 1(c), we peeled off implant mask 4 and, using silicon nitride film 3a as a mask, did wet oxidation at 1100°C for two hours to form field oxide film 7 1.2 μ m thick. The field region center with its ion-implant 5 proceeds to get a 0.5 μ m oxide film and—as distinct from the usual oxidized field film—that forms oxide field film 7 with only its central area 7a thickened. In the course of this oxidation, implant defect 6 undergoes repeated reducing, combining and solidifying, while the lattice defects at the pattern edge of the oxidized field film undergo gettering.

Finally, as shown in Figure 1(d), we remove silicon nitride film 3a used as a selective-oxidizing mask and so complete field oxide film 7.

Effects of Invention

With this invention's method of forming a field oxide film, one gets, first of all, a semiconductor device wherein the leaked voltage has been reduced at the field oxide film's pattern edges. Having completed the Figure 1(d) field oxide film, we removed the silicon nitride film and formed an n⁺ trough [?? Text unclear -- Translator] p-type element-forming region and measured the leaked current values of many n⁺-p junctions to find their frequency (Figure 3[a]), and we compared those to similar measurements on field oxide films from the usual processing. (Figure 3[b])

As one learns from comparing frequencies in Figure 3(a) from this invention's methods to frequencies in Figure 3(b) from the usual methods, this invention yields nearly one third the leaked current. That is a phenomenon of having used gettering to reduce lattice defects at pattern edges, the cause of leaked current arising.

Secondly, by measuring interjunction dielectric strength, we found that from this invention was 35V, while that from usual methods was 23V, showing that it gave good insulating and separating traits. Obtaining a field oxide film with such high dielectric strength also means increasing one's freedom in designing element separation.

Simple Explanation of Figures

oxidation

Figures 1(a)~(d) are diagrams of element cross sections illustrating the method of forming this invention's field oxide film.

Figures 2(a)~(d) are diagrams of element cross sections illustrating the usual method of forming field oxide film.

Figures 3(a)~(b) are graphs showing this invention's effects.

2	Silicon substrate Oxide film Nitride film	5 Ion implantation 6 Implant defect 7 Field oxide film 7 Central area of
	Nitride film mask (from selective	7a Central area of field oxide film

Patent applicant:

Toshiba Corporation

Agent:

Hideji Morota, Patent Attorney